

令和2年3月23日

学生、教職員の皆さんへ

国立大学法人東京海洋大学

新型コロナウイルス感染防止に係るイベント等への対応方針について(期間延長)【第2報】

標記対応方針については、3月5日付けでお知らせしたところですが、政府の新型コロナウイルス感染症対策専門会議の提言(2020年3月19日)等を踏まえ、適用期間を4月30日(木)まで延長することとしましたので、お知らせします。

【参考】

○令和2年3月5日付けのお知らせ(学内限定)

<https://www.kaiyodai.ac.jp/Japanese/shokuin/information/img/0be959b005ff018c12202f6ba0d101b6.pdf>

---

○新型コロナウイルス感染症対策専門家会議

「新型コロナウイルス感染症対策の状況分析・提言」(2020年3月19日)

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431\\_00093.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_00093.html)

— 以下、抜粋のみ —

Ⅲ. 提言等

2. 市民と事業者の皆様へ

(9)大規模イベント等の取扱いについて

2月26日に政府が要請した、全国的な大規模イベント等の自粛の成果については、その効果だけを取り出した「まん延防止」に対する定量的な効果測定をできる状況にはないと考えていますが、専門家会議としては、以下のような観点から、引き続き、全国的な大規模イベント等については、主催者がリスクを判断して慎重な対応が求められると思います。

全国規模の大規模イベント等については、

①多くの人が一箇所に集るといった集団感染リスクが想定され、この結果、地域の医療提供体制に大きな影響を及ぼしかねないこと(例:海外の宗教行事等)

②イベント会場のみならず、その前後などに付随して人の密集が生じること

(例:札幌雪まつりのような屋外イベントでも、近辺で3つの条件が重なったことに伴う集団感染が生じていること)

③全国から人が集まることに伴う各地での拡散リスク、及び、それにより感染者が生じた場合のクラスター対策の困難性

(例:大阪のライブハウス事案(16 都道府県に伝播))

④上記のリスクは屋内・屋外の別、あるいは、人数の規模には必ずしもよらないことなどの観点から、大規模イベント等を通して集団感染が起こると全国的な感染拡大に繋がると懸念されます。

このため、地域における感染者の実情やその必要性等にかんがみて、主催者がどうしても、開催する必要があると判断する際には以下①～③などを十分注意して行っていただきたい。

しかし、そうしたリスクへの対応が整わない場合は、中止又は延期をしていただく必要があると考えています。

また仮にこうした対策を行っていた場合でも、その時点での流行状況に合わせて、急な中止又は延期をしていただく備えも必要です。

①人が集まる場の前後も含めた適切な感染予防対策の実施、

②密閉空間・密集場所・密接場面などクラスター(集団)感染発生リスクが高い状況の回避、

③感染が発生した場合の参加者への確実な連絡と行政機関による調査への協力などへの対応を講ずることが求められます。